

Ⅲ 産 業

1. 地価動向

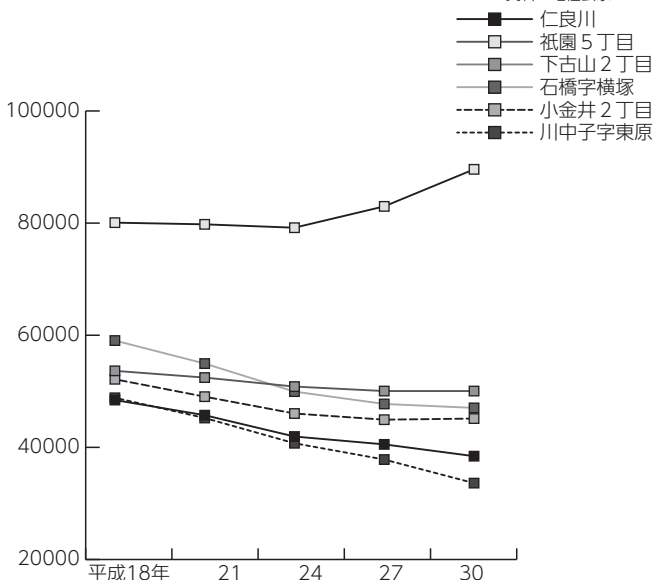
ほとんどの場所において地価が下がっている中で、祇園5丁目は地価が上がっている。

住宅地の地価

単位：円/㎡

	平成18年	21	24	27	30
仁 良 川	48,500	45,800	42,000	40,600	38,500
祇 園 5 丁 目	80,100	79,800	79,200	83,000	89,600
下古山2丁目	53,700	52,500	50,900	50,100	50,100
石橋字横塚	59,100	55,000	50,000	47,800	47,100
小金井2丁目	52,200	49,100	46,100	45,000	45,200
川中子字東原	48,900	45,300	40,800	37,900	33,700

資料：地価公示



解 説

地価公示は、地価公示法第2条第1項の規定に基づき、国土交通省土地鑑定委員会が毎年1月1日における全国の標準地の正常な価格を調査、公示するものです。地価公示制度は、一般の土地の取引価格の指標、不動産鑑定士等の鑑定評価の規準、公共事業用地の取得価格算定の規準とされ、また、相続税評価、固定資産税評価の目安、国土利用計画法に基づく土地取引の届出制における価格算定の規準等となるものです。

2. 産業

(1) 産業別就業者数

第1次産業、第2次産業ともに就業者数は減少傾向となっているが、反対に第3次産業の就業者数は増加している。

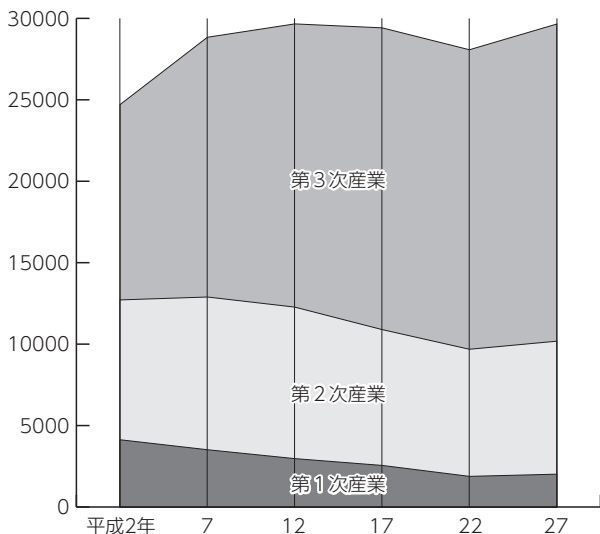
産業別就業者数の推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22	27
第1次産業	4,129	3,517	2,971	2,553	1,881	2,015
第2次産業	8,585	9,376	9,302	8,340	7,803	8,165
第3次産業	11,991	15,947	17,387	18,526	18,390	19,471

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査



解説

国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類を国勢調査に適合するように集約して編成したものであり、産業大分類を3部門に集約している場合、おおむね以下のような区分になる。

第1次産業・・・農業、林業、水産業

第2次産業・・・製造業、鉱業、建設業

第3次産業・・・卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など

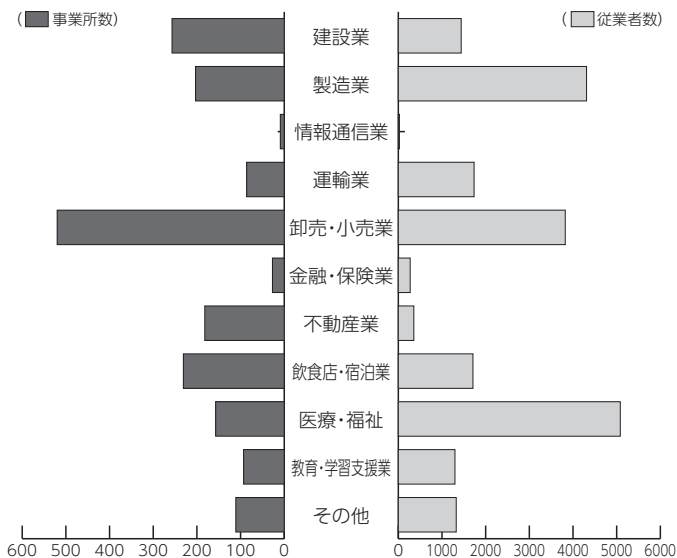
(2) 事業所数と従業者数

事業所数は卸売・小売業が最も多いが、従業者数は医療・福祉が最も多くなっていることから、医療・福祉に関わる人が多いことがわかる。

産業(大分類)別事業所数と従業者数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
事業所数	257	203	9	86	520	27	182	231	157	93	111
従業者数	1,440	4,310	25	1,735	3,823	272	355	1,709	5,083	1,297	1,326

資料：平成26年経済センサス基礎調査



3. 商業

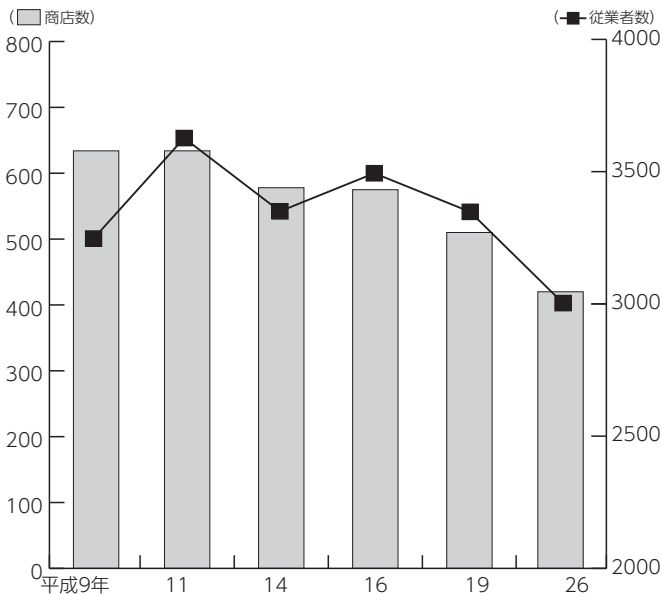
(1) 商店数と従業者数

平成9年から平成26年までの間に商店数はおよそ3割減少しているが、従業者数の減少は1割に満たないことが分かる。

商店数と従業者数の推移

	平成9年	11	14	16	19	26
商店数	634	634	578	575	510	420
従業者数	3,247	3,627	3,350	3,494	3,348	3,003

資料：商業統計調査、経済センサス基礎調査



参考

平成26年経済センサス基礎調査の商店数と従業者数

	商店数	従業者数		商店数	従業者数
宇都宮市	4,446	40,135	真岡市	650	4,375
足利市	1,560	9,641	大田原市	660	3,924
栃木市	1,527	9,614	矢板市	311	1,852
佐野市	1,395	8,753	那須塩原市	1,088	7,830
鹿沼市	947	6,608	さくら市	319	2,216
日光市	925	5,168	那須烏山市	270	1,269
小山市	1,315	10,800			

平成26年7月1日現在

(2)年間商品販売額

年間商品販売額は、商店数や従業者数の減少とともに減少傾向にある。

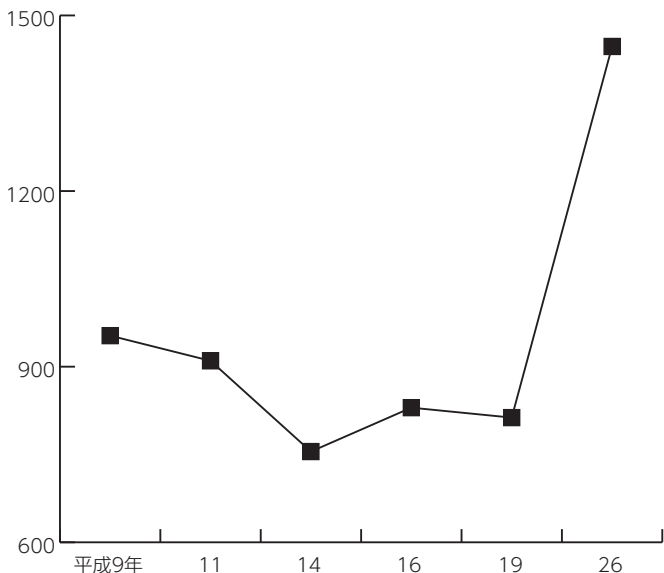
※平成19年以前と平成26年の比較にあたっては、調査区分の変更により集計対象が異なることに留意が必要である。

商店の年間商品販売額の推移

単位：億円

	平成9年	11	14	16	19	26
年間商品販売額	953	910	755	830	813	1,447

資料：商業統計調査、経済センサス基礎調査



参考

平成26年商業統計調査の年間商品販売額

単位：億円

宇都宮市	20,402	日光市	977	那須塩原市	2,219
足利市	2,585	小山市	3,826	さくら市	606
栃木市	2,776	真岡市	1,029	那須烏山市	220
佐野市	2,876	大田原市	1,154		
鹿沼市	1,937	矢板市	474		

平成26年7月1日現在

4. 工業

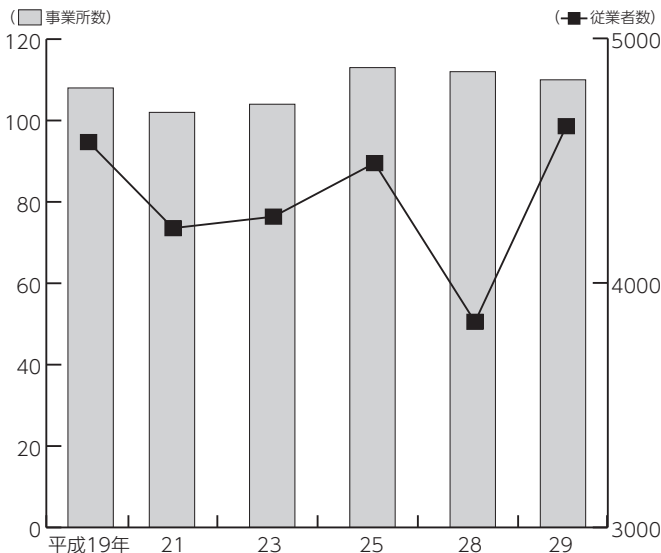
(1) 事業所数と従業者数

生産活動を行う事業所数はほぼ横ばいで推移しているものの、従業者数は減少傾向となっている。

生産活動を行う事業所数と従業者数の推移

	平成19年	21	23	25	28	29
事業所数	108	102	104	113	112	110
従業者数	4,576	4,224	4,271	4,490	3,841	4,641

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業者4人以上の事業所)



参考

平成29年工業統計調査の事業所数

	事業所数	従業者数		事業所数	従業者数
宇都宮市	520	31,337	真岡市	184	13,516
足利市	538	16,019	大田原市	160	11,454
栃木市	404	19,568	矢板市	63	2,925
佐野市	417	14,147	那須塩原市	235	10,259
鹿沼市	387	14,087	さくら市	105	4,962
日光市	189	7,277	那須烏山市	110	3,162
小山市	271	17,900			

(2) 製造品出荷額

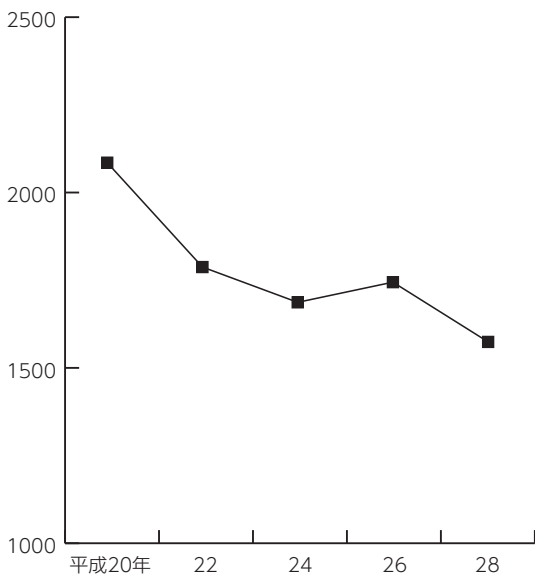
製造品出荷額は減少傾向にある。

製造品出荷額の推移

単位：億円

	平成20年	22	24	26	28
製造品出荷額	2,079	1,789	1,691	1,747	1,581

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業者4人以上の事業所)



参 考

平成28年工業統計調査の製造品出荷額

単位：億円

宇都宮市	21,222	日光市	3,126	那須塩原市	3,658
足利市	3,706	小山市	8,759	さくら市	2,043
栃木市	10,922	真岡市	5,789	那須烏山市	580
佐野市	3,865	大田原市	5,128		
鹿沼市	4,094	矢板市	1,138		

5. 農業

(1) 農家数と経営耕地面積

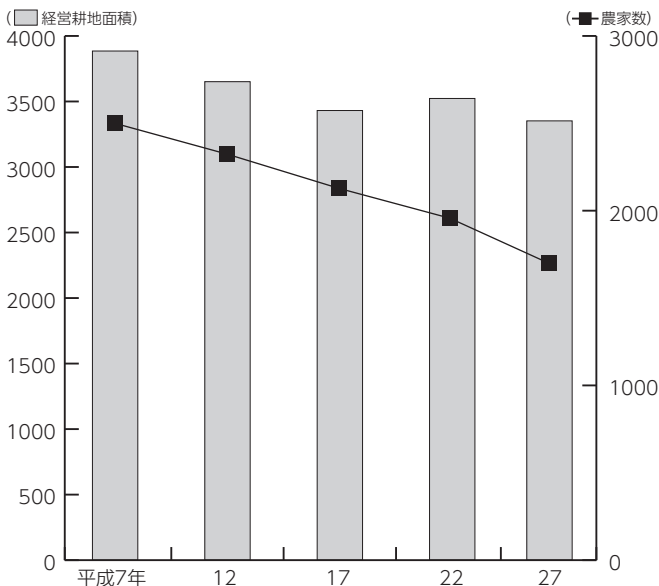
平成7年から27年にかけて、農家数はおよそ3割減少しているものの、経営耕地面積はおよそ1割程度の減少にとどまっている。

農家数経営耕地面積の推移

	平成7年	12	17	22	27
農家数(戸)	2,508	2,330	2,133	1,961	1,702
経営耕地面積 (ha)	3,885	3,651	3,431	3,523	3,352

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス



参考

平成27年農林業センサス (農家数：戸、経営耕地面積：ha)

	農家数	経営耕地面積		農家数	経営耕地面積
宇都宮市	5,218	9,899	真岡市	3,741	7,113
足利市	1,987	1,721	大田原市	4,151	10,233
栃木市	5,461	7,760	矢板市	1,163	2,651
佐野市	2,867	2,525	那須塩原市	2,820	8,648
鹿沼市	3,325	4,368	さくら市	1,707	4,394
日光市	2,264	4,295	那須烏山市	2,048	2,474
小山市	2,971	6,211			

平成27年2月1日現在

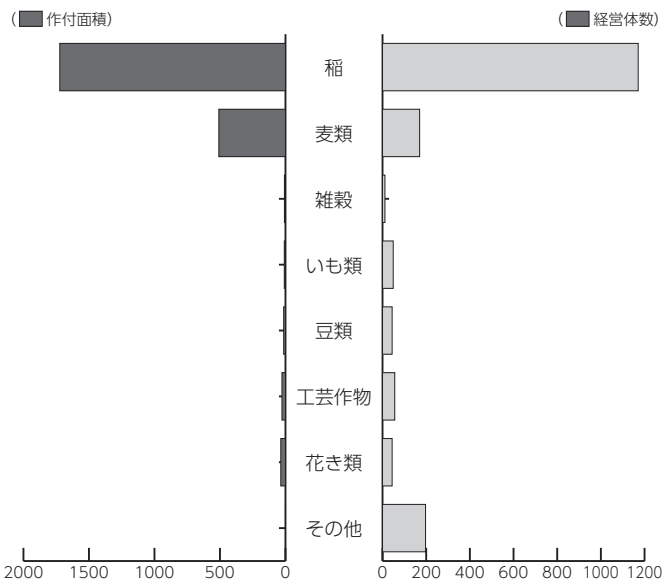
(2) 類別経営体数と作付面積

販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数をみると、稲が最も多く、作付面積も最も広いことがわかる。次いで麦類、工芸作物となっている。

販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数と作付面積

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
経営体数	1,171	170	11	49	44	56	44	197
作付面積 (ha)	1,723	509	8	9	14	27	36	—

資料：農林業センサス(平成27年)



参 考

平成27年農林業センサス (経営体数：戸、作付面積：ha)

		稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
宇都宮市	経営体数	3,412	276	104	146	134	7	115	269
	作付面積	5,823	673	105	6	141	2	79	310
栃木市	経営体数	3,281	783	135	160	153	11	46	322
	作付面積	4,076	1,723	106	7	150		22	469
小山市	経営体数	1,648	370	46	54	72	21	45	287
	作付面積	2,179	861	202	10	118	9		296

平成27年2月1日現在

(3) 水稻収穫量と作付面積

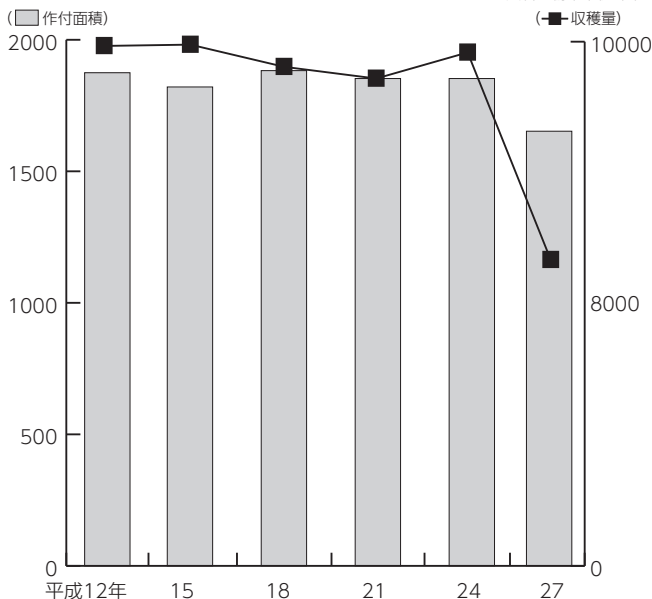
水稻の作付面積は微減となっており、併せて収穫量も微減になっている。

水稻収穫量と作付面積

単位：t

	平成12年	15	18	21	24	27
収穫量(t)	9,980	9,990	9,820	9,730	9,930	8,340
作付面積(ha)	1,872	1,818	1,880	1,850	1,850	1,650

資料：栃木県統計年鑑



参考

平成27年水稻収穫量と作付面積 (収穫量：t、作付面積：ha)

	収穫量	作付面積		収穫量	作付面積
宇都宮市	34,100	6,430	真岡市	21,900	3,980
足利市	4,800	996	大田原市	38,200	6,630
栃木市	21,600	4,500	矢板市	9,260	1,730
佐野市	7,580	1,670	那須塩原市	24,800	4,360
鹿沼市	10,200	2,150	さくら市	18,000	3,200
日光市	11,700	2,380	那須烏山市	8,000	1,490
小山市	15,100	3,030			

資料：栃木県統計年鑑

6. 林業

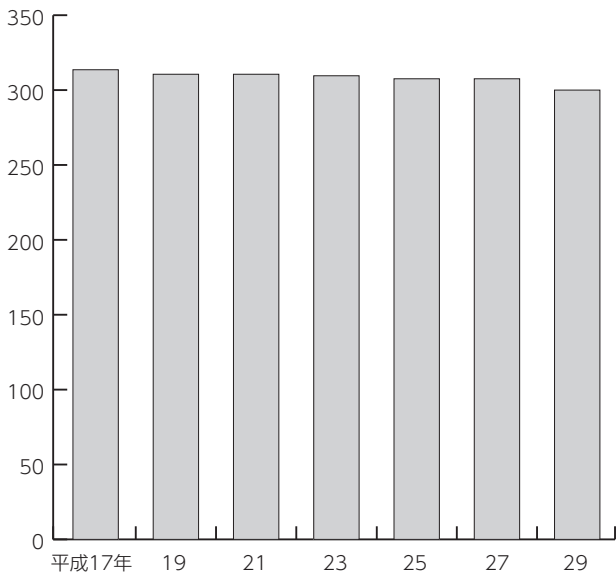
林野面積はほぼ横ばいで推移している。

林野面積の推移

単位：ha

	平成17年	19	21	23	25	27	29
林野面積	312	309	309	308	306	306	300

資料：栃木県環境森林部



参考

平成29年の林野面積

単位：ha

宇都宮市	8,180	日光市	125,294	那須塩原市	38,497
足利市	7,947	小山市	551	さくら市	2,412
栃木市	8,382	真岡市	1,435	那須烏山市	8,132
佐野市	21,809	大田原市	15,302		
鹿沼市	33,661	矢板市	9,752		